

■ 当施設は、自然災害や大規模事故等の際に診療継続できるよう強化してきた防災機能に加え、新型コロナウイルス感染症等、感染症流行時および感染症流行時に災害が発生した場合を想定した感染症対策の強化が求められているため、感染症の罹患の有無を判断するための問診や検査、そのための待合スペース等を含め、幅広く緊急時に使用できるスペース（トリアージスペース）を新たに確保することにより、本院が非常時に地域医療の最後の砦として診療を継続できるよう機能強化を図るものである。

■ 工事場所：出雲市塩冶町89-1（島根大学塩冶団地構内）

■ 延面積：180㎡

■ 建築面積：216㎡

■ 構造・階数：鉄骨造 地上1階建

■ 設計：（建築）（株）中林建築設計事務所
（設備）（株）総合技研設計

■ 施工：（建築）ヒロシ（株）

■ 工期：令和3年5月 ～ 令和3年10月（令和3年11月供用開始）

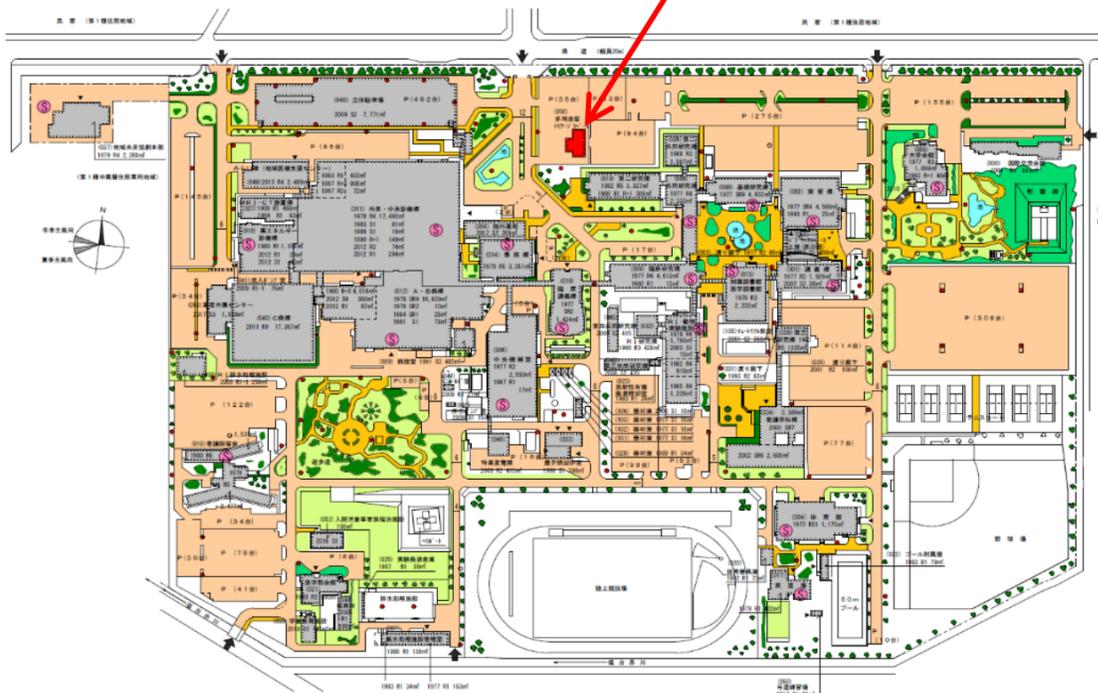


■ 外観（南西面）

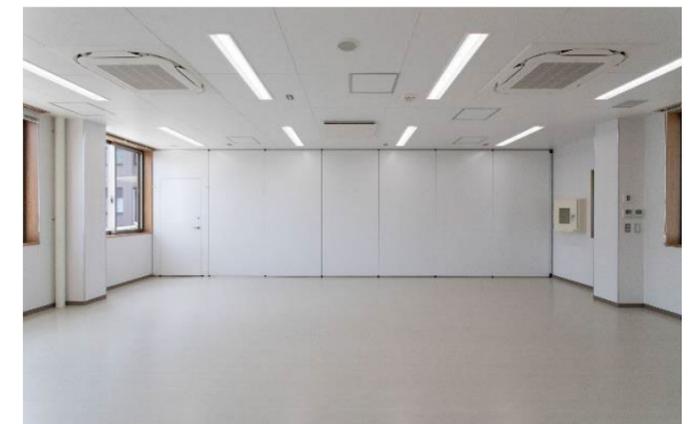


■ 玄関

附属病院多用途型トリアージスペース



- 可動間仕切り開放時
- ・ セミナー室1（検査室）
 - ・ セミナー室2（職員事務室1）
 - ・ セミナー室3（職員事務室2）
 - ・ 中会議室（患者待機室2）



- 可動間仕切り閉鎖時
- ・ セミナー室1（検査室）

※（ ）内は非常時（PCR検査時）の室名称を示す。